

2008年度（平成21年3月期） 第1四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社

2008年7月31日

経営成績

金額単位：億円

 第2四半期累計
業績予想に対する進捗

	07年度1Q	08年度1Q	前年同期比		08/9期 予想	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	653	701	48	7.4 %	1,326	52.9 %
営業利益	121	102	△ 19	△ 15.7 %	146	69.9 %
経常利益	128	108	△ 20	△ 15.8 %	146	74.0 %
四半期純利益	78	64	△ 14	△ 17.6 %	88	73.3 %

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入しております。

売上高の増減要因

金額単位：億円

	07年度1Q	08年度1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	653	701	48	7.4 %

(増収要因)

- ・戦略製品の堅調な推移
- ・新製品(ロナセン・アバプロ)の寄与
- ・新規生産受託の開始

(減収要因)

- ・薬価改定の影響

戦略4製品および新製品の売上高

金額単位：億円

	07年度1Q	08年度1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
アムロジン	152	164	12	8.2 %
ガスモチン	47	50	3	6.6 %
プロレナール	35	37	2	5.1 %
メロペン	35	36	1	2.9 %
戦略4製品 計	269	287	18	6.8 %

アバプロ	—	11	11	—
ロナセン	—	5	5	—
新製品 計	—	16	16	—

(注) 売上高は、国内売上高でリベート控除前で記載しております。

売上原価・販売費及び一般管理費の内訳

金額単位：億円

	07年度1Q		08年度1Q		前年同期比 増減額
		対売上高 比率		対売上高 比率	
売上高	653	—	701	—	48
売上原価	254	38.9 %	278	39.6 %	24
売上総利益	399	61.1 %	423	60.4 %	24
販売費及び一般管理費	278	42.6 %	321	45.8 %	43
販売費・一般管理費	185	28.3 %	195	27.8 %	10
研究開発費	93	14.2 %	127	18.0 %	34
営業利益	121	18.5 %	102	14.6 %	△ 19

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

(売上原価)

- ・薬価改定、棚卸資産の評価に関する会計基準適用に伴う売上原価率の上昇

(販売費及び一般管理費)

- ・新製品発売に伴う広告宣伝費、販売促進費の増加
- ・ルラシドンの海外臨床開発の進展に伴う研究開発費の増加

営業外損益及び特別損益の内訳

金額単位：億円

	07年度1Q	08年度1Q	前年同期比 増減額
営業利益	121	102	△ 19
営業外損益	7	6	△ 1
金融収支(受取配当金を含む)	6	6	0
寄付金	△ 2	△ 3	△ 1
その他	3	3	△ 0
経常利益	128	108	△ 20
特別損益	—	—	—
法人税等・少数株主利益	△ 50	△ 44	6
四半期純利益	78	64	△ 14

2008年度業績予想

金額単位：億円

	2007年度	2008年度	
	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
売上高	2,640	1,326	2,660
営業利益	398	146	305
経常利益	377	146	305
当期純利益	256	88	185
研究開発費	473	281	565

* 2008年度業績予想は本年5月に公表した数値を変更しておりません。

臨床開発の現況

申請中	第Ⅲ相試験	第Ⅱ相試験	第Ⅰ相試験
肝細胞癌治療剤 SM-11355 (ミリアラチン)	糖尿病治療剤 SMP-508 (レパグリニド)	糖尿病合併症治療剤 AS-3201 (ラニレストット)	過活動膀胱治療剤 SMP-986
糖尿病治療剤 SMP-862 (トホルミン)	統合失調症治療剤 SM-13496 (ルラシドン)	関節リウマチ治療剤 SMP-114	糖尿病治療剤 DSP-3235
パーキンソン病 AD-810N (ゾニザト)	発熱性好中球減少症 メロベン	認知症治療剤 AC-3933	アレルギー性疾患治療剤 (P1準備中) DSP-3025
C型代償性肝硬変 スミフェロン			気管支喘息治療剤 (米国) SMP-028
バリウム注腸X線造影 検査前処置 ガスモチン	統合失調症治療剤 (米国・欧州等) SM-13496 (ルラシドン)	関節リウマチ治療剤 (欧州) SMP-114	糖尿病治療剤 (欧州) DSP-7238
適応菌種追加 アムビゾーム		統合失調症治療剤 (米国・欧州) AD-5423 (プロナンセルリン)	糖尿病治療剤 (米国:P1準備中) DSP-8658
		認知症治療剤 (米国・欧州) AC-3933	過活動膀胱治療剤 (米国・欧州) SMP-986

 国内開発(新有効成分)

 国内開発(適応症追加)

 海外自社開発

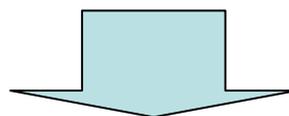
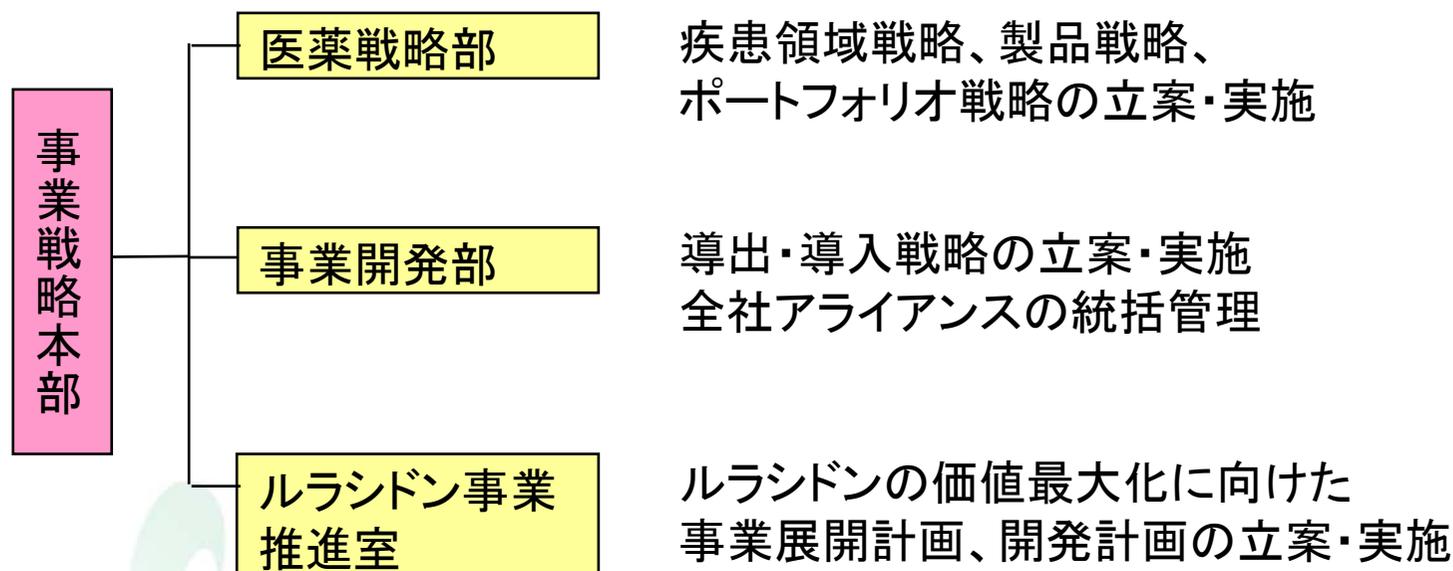
本年5月からの変更を白抜き文字で表示

臨床開発 進捗状況

- SMP-862(メトホルミン塩酸塩)： 第Ⅱ相から申請中に変更
 - メトホルミンの適切な効能・効果、用法・用量の新規取得を目指す
- アムビゾーム(アムホテリシンB)： 申請中(新効能)に追加
 - 追加予定適応症：同一有効成分の既存製剤の適応真菌種などの真菌症、リーシュマニア症

事業戦略本部の新設(6/27付)

■事業戦略本部の新設: 医薬事業の戦略企画機能のさらなる強化



医薬事業の方向性の明確化
選択と集中による資源配分の最適化

ルラシドン 進捗状況

グローバル試験(実施中)

■ 統合失調症

- プラセボ対照第Ⅲ相試験 (PEARL #1)
 - 目標症例数: 480例 (4群)
 - 治験実施国: アメリカ、フランス、ロシア 他
 - 昨年10月25日、スクリーニング開始。順調に進捗。
- プラセボ及び実薬対象第Ⅲ相試験 (PEARL #2)
 - 目標症例数: 480例 (4群)、対照薬: オランザピン
 - 治験実施国: アメリカ、インド 他
 - 1月31日、スクリーニング開始。順調に進捗。
- 長期安全性投与試験 (PEARL Safety)
 - 目標症例数: 600例、対照薬: リスペリドン
 - 治験実施国: アメリカ、南アフリカ、タイ他
 - 3月17日、スクリーニング開始。順調に進捗。

**Program to
Evaluate the
Antipsychotic
Response to
Lurasidone**

ルラシドン 進捗状況

グローバル試験(計画中)

- **統合失調症** :
プラセボ対照第Ⅲ相試験(PEARL #3)を2008年度中に開始予定
- **双極性障害** : 第Ⅲ相試験を2008年度中に開始予定
- **認知機能障害** : 他剤との差別化目的でデータを取得予定

国内(Pan-Asia)開発

- 4月(日本)、6月(台湾)、7月(韓国)で第Ⅲ相試験の治験届を提出
- 6月、日本にてスクリーニング開始
- 試験計画概要
 - 対象患者: 統合失調症患者
 - 対照薬: プラセボ(参照薬: リスペリドン)
 - 目標症例数: 440例
 - 治験実施国: 日本、韓国、台湾

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。